



環境科学科1年 ラボツアー 2日目 京都大学桂キャンパス



桂キャンパスは、2003年10月にオープンした京都大学3番目のキャンパスで、4つのクラスターから構成され、「テクノサイエンスヒル」を形成しています。今回の研修では、京都大学工学部・工学研究科の施設を中心に見学させていただきました。

環境系研究室は、移動現象論や環境システム工学等の手法と基礎およびフィールド実験からの知見のもとに、物質やエネルギーの流れを解析し、都市代謝機能を担う環境プラントの計画、設計、制御等の研究が行われています。

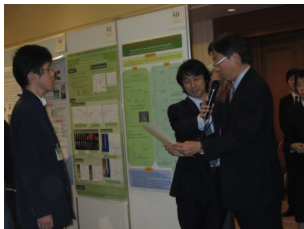
シミュレーションラボは、構造物の破壊実験や流体実験等の大規模な実験装置を用いる研究のための大空間実験室で、大気・海洋シミュレーション水槽、弾性体一流体シミュレーション風洞装置、反力壁・反力床があります。こちらでは、音響実験に使用する無響実験室を見学しました。無響実験室は、反射音のまったくない空間でした。吸音材には、ガラスウールをくさび型に特殊加工したものが使われていました。



科学系図書室のガラスウォールには、京都大学出身のノーベル賞、フィールズ賞受賞者が刻まれており、研究者の実験ノートなどが展示されていました。また、ガラスウォールの空白部分は「自らの名前を刻むべく研鑽せよ」という暗黙のメッセージとなっているそうです。

参加生徒の感想より

「初めてみる機械や研究室ばかりで驚きの連続だった。」「無響実験室は普段入ることがない場所なので、貴重な体験ができました。」「シミュレーションラボは想像をはるかに超えた巨大な実験装置ばかりだった。」「研究の難しさと実験の楽しさを感じることができてよかった。」



第6回実験力学における 先端科学技術に関する国際シンポジウム

11月5日(土)、ホテル日航関西空港で、第6回実験力学における先端科学技術に関する国際シンポジウムが行われました。

本校からは、物理部と、探究科学Ⅱ生物ゼミの遺伝子班が参加し、ポスターセッション発表しました。物理部は、「Experienced Kansai Tournament WRO JAPAN 2011」、遺伝子班は「Phylogenetic Analysis of *Citrus* Using Retrotransposon, *CIRE1*」というテーマで、英文のポスターを作成しました。ポスターセッションでは、審査員や聴衆の前で、5分間の発表を行いました。

表彰式では、物理部がポスターセッション賞に入賞し、遺伝子班は奨励賞をいただきました。

参加生徒の感想より

「会場には外国の方々が出て、とても緊張したけれど、本番では不思議と落ち着いて発表することができました。たくさんの人たちがポスターを見に来てくれ、大学の先生から、アドバイスをいただくことができ、とても有意義なものになりました。また、賞をとることができて、とてもうれしかったです。」「英語で話すのが普通になっている場を実際に感じることができました。」「英語で発表するために準備がとても大変でした。」「国際シンポジウムで、自分たちの研究を発表でき、貴重な体験ができました。また、このような機会があれば参加したいです。」「いろいろな分野の高度な研究内容を見ることができ、よい刺激になりました。」

